

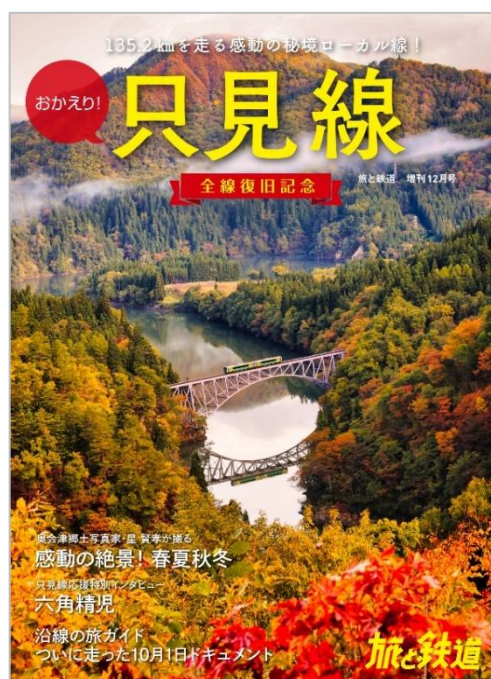
各 位

2022年10月24日

株式会社天夢人

世界中を感動させる絶景が待っている只見線が、ついに全線復旧！
『旅と鉄道』2022年増刊12月号「おかえり！ 只見線 全線復旧記念」を発刊。
沿線は、これから紅葉シーズン到来！ 秋の乗り鉄は只見線へ

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝峰富雄)は、2022年10月24日に、『旅と鉄道』2022年増刊12月号「おかえり！ 只見線 全線復旧記念」を刊行いたしました。



秋の紅葉を筆頭に、冬の雪、春の桜、夏の川霧などが織りなす四季の美しさで、国内のみならず、世界中から“絶景のローカル線”と注目を集めている只見線。2011年の水害で一部区間が不通となっていました。復旧工事が完成し、2022年10月1日から全線通しての運行が再開されました。この復旧は施設の保有と運行を分担する上下分離方式を採用し、地元自治体の支えがあったからこそ実現できました。そこで、只見線と沿線を応援する企画として緊急発刊いたします。

只見線を年間300日以上撮影し続ける奥会津郷土写真家・星賢孝さんの写真で、四季の絶景をあますところなく掲載。10月1日の全線復旧初日の沿線の歓迎風景も収録した、完全保存版です。

全線復旧の日、地元の人々の歓迎シーンに密着しました



2022年10月1日に再び全線を通して走り始めた只見線。その復旧初日、翌日の2日間、沿線や駅では只見線の復旧を出迎え、列車に手を振るために多くの地元の人々が集まりました。只見線の復旧を待ちわびていた奥会津地域の人々の様子をお伝えします。

俳優・六角精児さんによる応援インタビューを掲載

只見線の自然を絶対に見に来てほしい！

昔ながらの風情が残るローカル線

六角精児 只見線愛を語る

鉄道ファンとして知られ、自身のバンド「六角精児バンド」にて『只見線のうた』を発表するなど只見線愛好家としても知られている六角精児さん。プライベートでも度々只見線に訪れているという六角さんに、只見線愛を伺いました。

Photo: 六角精児「おんげんくーい」
2022年10月1日、只見線全線再開の日。奥会津地域に緑の電車が走る。只見線愛好家として知られている六角精児さん。プライベートでも度々只見線に訪れているという六角さんに、只見線愛を伺いました。

取材：佐々木 隆雄、撮影：佐々木 隆雄

「只見線の魅力を言葉で言いますなら『海以外の日本の原風景がすべてである』」

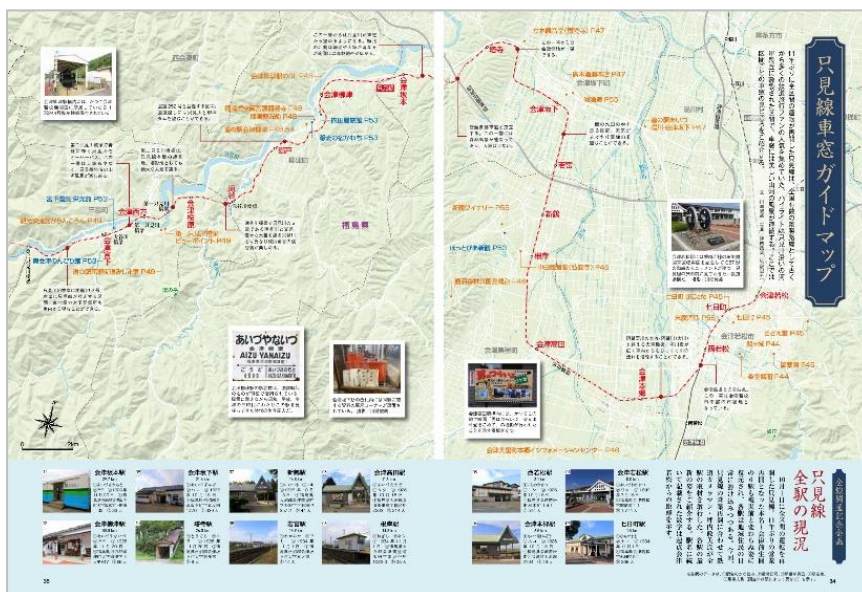
鉄道ファンとして知られ、自身のバンド「六角精児バンド」にて『只見線のうた』を発表するなど只見線愛好家としても知られている六角精児さん。プライベートでも度々只見線に訪れているという六角さんに、只見線愛を伺いました。

只見線を年間 300 日以上撮影し続ける奥会津郷土写真家・星 賢孝さんの絶景写真を掲載



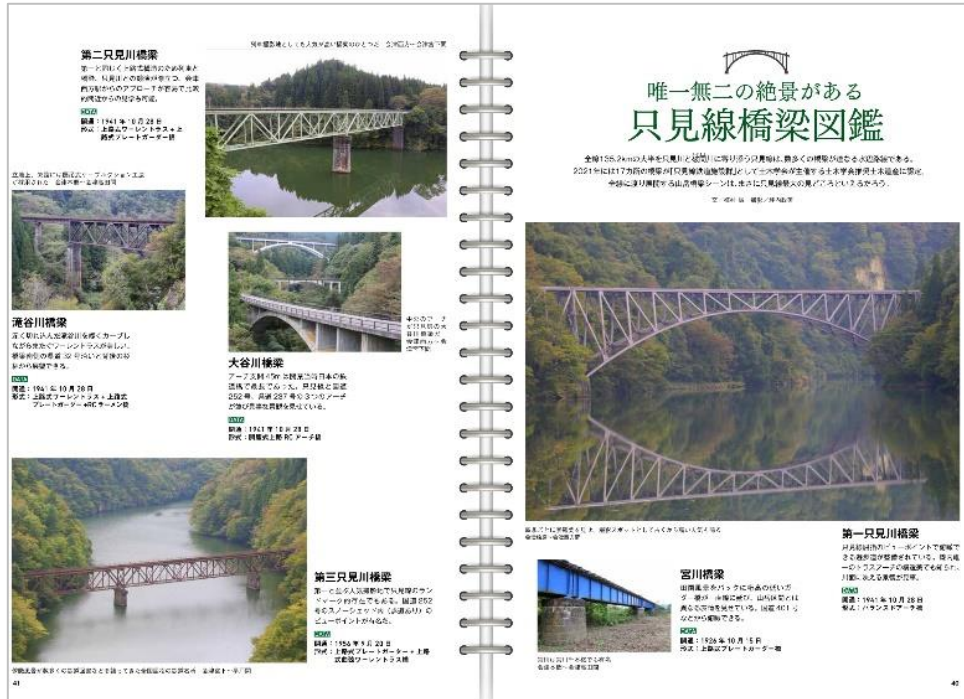
只見線の写真を、年間 300 日以上撮り続けている奥会津郷土写真家・星 賢孝さんの季節感あふれる絶景写真を掲載。只見線に密着している星さんだからこそ撮影することができた、季節の美しさの数々は感動ものです。また全線開業を見届けた星 賢孝さんに熱い思いをインタビューしているほか、星さんを取り上げた映画「霧幻鉄道 只見線を 300 日撮る男」の誌上公開記事も掲載しています。

只見線の車窓の見どころや沿線風景も分かる「只見線車窓ガイドマップ」



会津若松から小出まで 135.2 kmを走る只見線全線の路線図を掲載。車窓の絶景ポイントや沿線の観光スポットが分かるほか、乗車時に気になる橋梁の位置も記載しています。

「只見線橋梁図鑑」で沿線最大の見どころでもある個性的な橋梁が分かります



只見線といえば、個性的なデザインにあふれる橋梁の数々。最大の見どころでもある橋梁をクローズアップし、開通日や橋の形式などのデータ付きの橋梁図鑑として掲載しています。

沿線観光情報は市町村別に掲載！



只見線に乗ったら、ぜひ駅で途中下車をして周辺の観光スポットや温泉、道の駅、グルメなどを楽しんでみてください。只見線が走る、福島県の会津若松市・会津美里町・会津坂下町・柳津町・三島町・金山町・只見町、新潟県の魚沼市の8市町ごとに観光スポットを紹介しているほか、沿線グルメ、宿泊情報まで網羅した沿線旅ガイドです。

全線復旧直後の会津川口～只見間を空から撮影すると、新しい只見線の絶景がありました



水害により運休となっていた会津川口～只見間。この区間に11年ぶりに列車が走り始めた様子を空から撮影。本名ダムの前に架かる第六只見川橋梁、蒲生岳のふもとを走る只見線など視点を変えたことで見る事ができた、新しい只見線の絶景をご覧ください。

1970年代から1990年代にかけての蒸気機関車や気動車の記憶が蘇ります



大白川～只見間がまだ開通していない1971年のC11形蒸気機関車や、貨客混合列車、1980年代のキハ58形急行「奥只見」など、とても懐かしい只見線の光景を収録しています。

【目次】

- おかえり！ 只見線 2022年10月1日・2日のドキュメント
- 昔ながらの風情が残るローカル線六角精児 只見線愛を語る
- 奥会津郷土写真家・星 賢孝が撮った感動の絶景！ 秋・冬・春・夏
- 奥会津郷土写真家・星 賢孝インタビュー
- 「霧幻鉄道 只見線を300日撮る男」誌上公開
- 只見線車窓ガイドマップ
- 唯一無二の絶景がある只見線橋梁図鑑
- 奥会津のダイナミックな景観とグルメを楽しむ！ 只見線沿線の旅
 - ・福島県会津若松市(会津若松～会津本郷駅)
 - ・福島県会津美里町(会津本郷～新鶴駅)
 - ・福島県会津坂下町(若宮～会津坂本駅)
 - ・福島県柳津町(会津柳津～滝谷駅)
 - ・福島県三島町(会津桧原～早戸駅)
 - ・福島県金山町(早戸～会津大塩駅)
 - ・福島県只見町(会津塩沢～只見駅)
 - ・新潟県魚沼市(大白川～小出駅)
 - ・只見線沿線宿泊ガイド
 - ・只見線沿線グルメ図鑑
- ミラーレスカメラとともに旅する只見線乗り鉄紀行
- 只見線の96年史
- 只見線復旧の軌跡
- 空から見た只見線
- 只見線の記憶 1970～1971／1971～1974／1978～1997
- 只見線と私
- 只見線時刻表
- 只見線応援団になろう！

【書誌情報】

書名:『旅と鉄道』2022年増刊12月号「おかえり！ 只見線 全線復旧記念」

仕様:A4変型判・96ページ

定価:1760円(税込)

発売日:2022年10月24日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/3egDjrm>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月21日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:真柄

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: tabitetsu@temjin-g.co.jp

URL: <https://www.temjin-g.co.jp>